

江南小学校
学校通信
8月号



至誠一貫

うきは市立江南小学校
校長 石橋 篤

夏休みが終わり、いよいよ2学期が始まりました。静かだった校舎に久しぶりに子どもたちの元気な声と笑顔が戻り、学校全体が活気に満ちあふれています。

始業式では、2学期は運動会や江南フェスタ、スポコン広場の長縄大会など大きな行事がたくさんある中で、それらを成功させるためにも「まごころ」「進んで」を大切にしてほしいことや、失敗してもいいからいろいろなことに挑戦したり努力したりしてほしいこと、そして、そんな自分にもっと自信をもってほしいことを伝えました。

2学期も「子どもたちが生き生きとした学校」となるよう努めて参りますので、引き続きご支援・ご協力をよろしくお願いします。



平和学習

8月6日の出校日に平和学習を行いました。各学年で映画や教材などを通し、戦争の悲惨さや平和の尊さ、命の大切さなどを学んでいました。また、6年生が1～5年生の教室を訪問し、長崎修学旅行で学んだことを後輩達に真剣に伝えている姿を見て、うれしく思いました。

残念ながら世界では戦争が起きている国がいくつもあり、多くの人の命が奪われています。もし、家族や友達が亡くなったら想像できないくらい悲しい、つらい気持ちになると思います。だから、自分の命、そして、友達の命を大切にしてほしいです。友達の心を傷つけるようなことを言わない、叩いたりしない、いじめたりしない。友達を大切にすることで、きっと自分も周りから大切にされます。みんながお互いのことを大切にしてほしいと願っています。



原子爆弾の恐ろしさを聞いている様子



後輩に修学旅行の学びを伝える6年生



自然教室

4・5年生は7月23日・24日の自然教室で、国立夜須高原青少年自然の家で活動しました。ウォークラリーでは、地図を頼りにグループで協力しながら自然の中を歩き、仲間と力を合わせる大切さを学びました。また、夜のキャンドルの集いでは、全員で一つの時間を創り上げる喜びを味わうことができました。

この2日間、自然の素晴らしさを肌で感じながら、普段の生活ではできない体験を通して、団体行動の大切さを身をもって学んでいました。この経験を、今後の学校や家庭での生活に活かしていくことを期待しています。



タベの集いの様子



キャンドルの集いで誓いの言葉



冷たくて気持ちいい川遊び